

令和 4年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	相互の特長をいかした多様な連携の推進		課(室)名	政策課
	施策	連携の推進		電話番号	087-839-2135
	基本事業	連携中枢都市圏における連携事業の充実		事業実施主体	市
	事務事業	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	人口減少、少子・超高齢社会にあっても、経済を持続可能なものとし、より住民が安心して暮らしを営んでいけるようにするため、瀬戸・高松広域定住自立圏から国が進める新たな広域連携制度の連携中枢都市圏へ平成28年度から発展的に移行し、圏域全体の更なる活性化と魅力ある都市圏の形成を図る。また、本市が中心となって、圏域における人口流出の抑制、維持に貢献できるように、圏域の経済を活性化するとともに、住民の生活環境の利便性を維持向上させる連携事業の実施に努める。				
年度概要	ビジョン懇談会（1回）の開催 懇談会部会の開催（1回） 連携中枢都市連絡会議出席 ポータルサイト保守				
重点取組事業	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	本市及び近隣連携自治体
意図（どのような状態にしたいか）	圏域における人口流出の抑制、維持に貢献できるように、本市が中心となって、圏域の経済を活性化するとともに、圏域住民の生活環境の利便性を維持向上させる施策・事業を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
近隣市町協議数（協議市町数×回数）	協議数	42	42	49	42	42

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
成果指標	圏域で取り組む連携事業の数（都市圏ビジョン登載事業数）	事業	目標値	72	74	76	78	78
			実績値	72	74	74		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 圏域全体の経済成長のけん引に係る連携分野及び圏域全体の生活関連機能サービスの向上に係る連携分野における連携事業の数の合計が74事業となり、目標値をやや下回った。 (目標達成度)							(達成度) 97.4%
								34点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）
トータルコスト	[千円]	8,251	7,068	6,350	6,620
（事業費）	[千円]	663	334	310	580
（職員人件費）	[千円]	7,588	6,734	6,040	6,040

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
------------	---	--------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

新型コロナウイルス感染症の影響により、ビジョン懇談会、推進委員会、事務局会をWeb会議で開催したが、リアル開催と比較して活発な議論が展開されなかった。
また、連携中枢都市圏ビジョンに掲載している約7割の事業の実施が新型コロナウイルスの感染症の影響により、実施手法の変更や実施できないなど、大きな影響を受けた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

ウイズコロナの状況において、効果的に連携事業を推進するため、事業の実施内容や手法等について、各連携市町と協議していく。
また、Web会議で活発な議論が展開されるよう、会議の進行方法等について検討する。